

# 【現時点での標準的接種スケジュール(目安)】

平成21年11月17日現在

国産ワクチン  
 11/6前倒し検討を依頼した部分  
 10/20からの変更部分  
 輸入ワクチン(未定)

※「接種回数」は、成人への接種回数に換算している。  
【換算の前提】

1～6歳未満：0.2ml×2回接種、6～13歳未満：0.3ml×2回接種、13歳以上の中学生、高校生に相当する年齢の者：0.5ml×2回接種、それ以外の者：0.5ml×1回接種

	単位 (成人換算)	10月		11月		12月			1月		2月		3月		年度内合計	
		前半	後半	前半	後半	上旬	中旬	下旬	前半	後半	前半	後半				
出荷数量 (予定)	国産(10mLバイアル)	万回分	45	90	173	173	248	166	378						1,273	
	国産(1mLバイアル)	万回分	73	44	166	224	324	294	81	659	580	488	349	560	3,842	
	国産(0.5mlシリンジ)	万本(万回分)			25	55		55			69	69			273	
	計	万回分	118	134	364	452	572	515	459	659	649	557	349	560	5,388	
な接種 定数量 (可能 予定)	国産(月別)	万回分	—	118	134	364	452	572	515	459	659	649	557	349	560	5,388
	国産(累計)	万回分		118	252	616	1,068	1,640	2,155	2,614	3,273	3,922	4,478	4,827	5,388	
1	インフルエンザ患者の診療に 直接従事する医療従事者		100万人【1回目】													
2	妊婦		65万人【1回目】			10～15万程度/月(接種時期を限定しない)									※0.5mlシリンジ(チメロサルフリー)は11月後半から供給する予定	
3	基礎疾患を有する者 (最優先)		600万人【1回目】			200万人【2回目】										※免疫力が著しく低下し、2回接種する方を約200万人と想定
	基礎疾患を有する者 (その他)					300万人【1回目】										
4	幼児(1歳～就学前)					600万人【1回目】		600万人【2回目】								
	小学校低学年に相当する年齢の者					350万人【1回目】		350万人【2回目】								
5	1歳未満の小児の保護者及び優先接種対象者のうち、身体上の理由により予防接種できない者の保護者等					200万人【1回目】										
6	小学校高学年に相当する年齢の者					350万人【1回目】		350万人【2回目】								
7	中学生に相当する年齢の者					350万人【1回目】		350万人【2回目】								
8	高校生に相当する年齢の者					350万人【1回目】		350万人【2回目】								
9	高齢者(65歳以上)									約1,000万人分接種						※高校生及び高齢者の一部は、従来輸入ワクチンの使用を想定していたが、接種回数の変更に伴い国産ワクチンの接種を可能とした。

※製造計画や出荷数量等については、変動の可能性があります。12月下旬以降の出荷計画の具体的な数量は別途明示します。

※1月以降は従来10mlで製造予定としていたワクチンを1mlに切り替える予定です。

※輸入ワクチンについては、現在承認申請中であり、今後、具体的なスケジュールを示す予定です。

※本スケジュールは各カテゴリーの接種率が100%であることを前提としているため、前倒しする可能性があります。

※既に発症した方が接種を受けないことは考慮していません。(定点サーベイランスに基づく第28週から第45週までの累積推計患者数は約700万人)

表 標準的接種スケジュール

年月	対象者
平成21年10月	○インフルエンザ患者の診療に直接従事する医療従事者
11月	○妊婦 ○基礎疾患を有する者
12月	○1歳～小学校低学年に相当する年齢の者 <u>○1歳未満の小児の保護者及び優先接種対象者のうち、身体上の理由により予防接種が受けられない者の保護者等</u> ○ <u>小学校高学年に相当する年齢の者</u>
平成22年 1月	<u>○中学生に相当する年齢の者</u> ○高校生に相当する年齢の者
2月	○高齢者（65歳以上）

※下線部分は11月11日事務連絡による接種回数の変更に伴い、10月20日に示したスケジュールから前倒しとなった部分